

GCC 第3回オンライン・ワークショップ コンパッション・ベースド・セラピー

(Compassion Based Therapy)

喪失・グリーフの癒しに向けて

指導: 鈴木剛子 (GCC 代表)

GCC オンライン・ワークショップでは、これまで Non-Death-Loss のシリーズとして、「終わりのない喪失」と「慢性的な悲しみ」について、事例を紹介しつつ考察してきました。さてそうした苦しみに対する究極の療法、コンパッション・ベースド・セラピー (Compassion Based Therapy) が注目されています。死別は元より、疾病、障害、難病の介護など、NDL にも応用できる療法です。当事者・支援者の双方に役に立つ CBT の奥義を何回かにわたり一緒に学んでいきたいと思っております。ご参加をお待ちしております。

DATE & TIME

開催日: 2021年9月11日(土曜) 時間帯: 14:00~17:00

演題: 『コンパッション・ベースド・セラピー: 喪失とグリーフの癒しに向けて』

講師: GCC 代表 鈴木剛子

参加方法: ZOOM 利用。申込手続き完了の方へ ZOOM URL を通知する

参加費: ¥10,000

対象者: 喪失学・グリーフ学に関心のある方、援助・介護、医療職の方、家族の介護に携わっている方

申込方法: GCC 宛メールに1)参加希望、2)氏名、3)参加用メールアドレスを記載の上、下記のメールアドレス info@gcctokyo.com へご送付ください。

振込先: 三井住友銀行 渋谷支店 普通預金 7962569 名義人・鈴木剛子

問合せ先: メールにてお願いします。 info@gcctokyo.com

講師プロフィール



鈴木剛子 (すずき・よしこ)

グリーフ・カウンセリング・センター (GCC) 代表、グリーフ・カウンセラー、カウンセラー養成講座主催。麗沢大学コミュニティ・カレッジ、桜美林大学アカデミー講師、山梨英和大学非常勤講師など歴任。International Work Group on Death, Dying & Bereavement、Association for Death Education and Counseling、日本自殺予防学会会員
国際基督教大学教養学部卒。日本語教師として上智大学などで教鞭をとる。ポツェガ・ヴェネタ及びモスキーノ日本法人・代表取締役を歴任。夫との死別がきっかけとなり、海外ブランドビジネスの業界を引退。2000年、カナダ、King's Univ. Collegeに留学。2002年、ビリーブメント&グリーフ・スタディ・専門過程修了、カウンセラー資格取得。2004年、Huron Univ. College 大学院神学部修士課程修了。帰国後、グリーフ啓蒙と死別体験者のサポートを目指しGCC設立。海外よりロバート・ニーメヤーほか数名の研究者を招き、GCC、国際基督教大学、東京大学にてワークショップを開催。訳書: ロバート・ニーメヤー著 鈴木剛子訳『大切なものを失ったあなたに: 喪失をのりこえるガイド』(春秋社、2006) ショーン・C. シア著 松本俊彦(監訳) 鈴木剛子他2名(翻訳)『自殺リスクの理解と対応: 「死にたい気持ちにどう向き合うか」(金剛出版、2012)